

花粉の季節がやってくる...

花粉症のつらい症状は日常生活にも支障をきたすこともありますよね。
花粉症シーズンが始まる前の1月下旬頃からお薬を使用し、早期から準備することで症状を軽減することができると言われています。
花粉症のOTC医薬品には内服薬、点鼻薬、点眼薬があり、剤形は使いやすいものを選ぶとよいですが、内服薬は鼻水、鼻づまり、くしゃみなど、軽い症状全般に有効です。
眠気が心配な方は局所に直接作用する点鼻薬や点眼薬を使用するのも良いでしょう。
特に強い鼻づまり、鼻水には点鼻薬が有効です。
そして花粉症のお薬の中にはスイッチOTCもあります。
今回は花粉シーズンにおススメのスイッチOTCのご紹介です!!



● スイッチOTCとは...?? ●

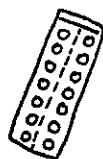
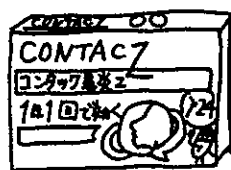
スイッチOTCとは、医療用医薬品として用いられていた有効成分が、OTC医薬品に切り替わった(スイッチした)医薬品のことです。
今回、ご紹介するアレルギー薬の他にも、解熱鎮痛剤、胃腸薬、水虫薬などがあります。



✿ 鼻水・鼻づまり・くしゃみなどに効果的なスイッチOTCのご紹介 ✿

● コンタック鼻炎Z (14錠入) ●

医療用の名称は「シルテック」。
15歳以上から。
眠気の副作用は軽減されていますが、服用後は乗物又は機械類の運転などとはしないで下さい。



1日1回で効果が
1日持続♪

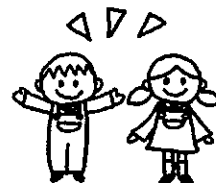


● アレグラFX (28錠入) ●

医療用の名称は「アレグラ」。
15歳以上から。
脳に作用しにくい成分なので、眠気やインペアード・パフォーマンスを起こしにくいです。
インペアード・パフォーマンスとは、集中力、判断力、作業能力などが低下することです。



アレグラFX ジュニア
(7~14歳用)も
ありますよ♪



OTC医薬品を1週間ほど使用しても症状の改善が無い場合などは、薬局やドラッグストアの薬剤師又は登録販売者に相談するか、早めに医療機関を受診しましょう。
ご相談の際には普段飲んでいる薬が分かるお薬手帳も持参していただくと良いですね♪

